

ニューズレター No.107

発行人 谷川 裕稔

2019(平成31)年2月20日発行

日本リメディアル教育学会, ニューズレターNo.107をお届けいたします。今回は,

- (1) 第6回中国・四国支部大会の開催報告
 - (2) 今後の各支部大会・専門部会・大会の予定
 - (3) 第7回関東・甲信支部大会、第1回授業実践フォーラムの開催案内
 - (4) 学習支援部会・ICT活用教育部会・大学e-ラーニング協議会合同シンポジウムの開催案内
 - (5) 第12回関西支部大会の開催案内
- についてお知らせいたします。

第6回中国・四国支部大会の開催報告

日本リメディアル教育学会(JADE)中四国支部会の第6回支部大会を下記のとおり開催いたしました。参加者は32名でした。

■日時:2018年12月8日(土) 13:15-17:20

■場所:川崎医療福祉大学

■プログラム

13:15~13:45 受付開始

13:45~13:55 開会行事

14:00~15:20 パネルディスカッション1 (日本語部会企画)

「大学生は自分の日本語能力をどのように評価しているかー「書く」ことを中心にー」

佐藤 尚子氏(千葉大学)・大野 早苗氏(順天堂大学)

15:30~17:00 パネルディスカッション2

「よりよい高大接続を考えるー高等学校「国語」の新学習指導要領と新テストをふまえてー」

櫻井 隆史氏(ベネッセコーポレーション)・守本 哲也氏(岡山朝日高等学校)・橋本 美香氏(川崎医科大学)

17:00~17:20 総会

17:20 閉会

18:00~20:00 情報交換会

パネルディスカッション1では、まず第14回全国大会日本語部会企画「日本語を書くー高校と大学の日本語教育の円滑な接続を目指してー」でのアンケートの結果が報告されました。次に、Can-do statementの結果をふまえ、①自己評価をさせることで学生の意識を変えることができるということ、②日本人学生の考える「よい意見文」についての特徴が発表されました。

パネルディスカッション2では、櫻井隆史氏が平成30年度試行調査をふまえて大学入学共通テスト(「国語」の新テスト)の概要と求められる学力についての分析を行い、これをうけて高等学校の立場から守本哲也氏が、大学の立場から橋本美香氏が意見を述べ、最後にフロアと質疑・意見交換を行いました。

今後の各支部大会・専門部会・大会の予定

日本リメディアル教育学会の今後の予定についてお知らせいたします。

2019年

2月22日 関東・甲信支部大会(大妻女子大学)・授業実践フォーラム大会

3月15・16日 学習支援部会・ICT活用教育部会・大学e-ラーニング協議会 合同シンポジウム(山梨大学)

3月29日 関西支部大会(滋賀大学)

8月26日~28日 第15回全国大会(金沢工業大学)

第7回関東・甲信支部大会、第1回授業実践フォーラムの開催案内

JADE関東・甲信支部の第7回大会(2018年度)を、第1回授業実践フォーラムを兼ねて下記のとおり開催いたします。

なお、一般参加費の徴収はございません。会員・非会員の別なく、どなたでもご参加いただけます。是非とも名刺交換会までのご出席を心よりお待ちしております。

■日時:2019年2月22日(金) 9時50分~15時45分(名刺交換会 15:50~17:00)

■会場:大妻女子大学 千代田キャンパス G棟4階(〒102-8357
東京都千代田区三番町12番地)

■交通アクセス:<http://www.otsuma.ac.jp/access/chiyoda>

■プログラム

<午前の部> 授業実践フォーラム

9:50~12:00(12:30) 公開討論交流会

冒頭15分~20分の模擬授業を聴き、残りの時間(約40分)を座長を中心に討論します。

13:30~13:40 開会行事・総会

<午後の部> 研究発表会

13:40~15:45 研究発表会

15:50~17:00 名刺交換会

*プログラムの詳細および予稿は[支部会のHP](#)をご覧ください

■申込み:[参加申込フォーム](#)より、あらかじめお申し込みいただけますと幸いです。

紹介、ポスターセッションを行います。

2日目は、日本リメディアル教育学会のICT活用教育部会・学習支援部会と本協議会の共催で、口頭発表、「学修(習)支援センター」における支援のあり方をテーマとしたシンポジウムを開催します。

授業そのものと授業外の支援におけるICT活用に関する理解と議論を深める機会となることが期待されます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

*2日目に行われますシンポジウムは、日本リメディアル教育学会研究活性化支援制度による助成を受けて開催いたします。ご確認ください。

■プログラム:合同フォーラムのサイト

(<https://www.cccties.org/event/e20190314/>)をご覧ください

■申込み:3月11日(月)までにサイト内の[専用フォーム](#)にてお申し込みください。

学習支援部会・ICT活用教育部会・大学eラーニング協議会 合同シンポジウムの開催案内

■日時:

2019年3月14日(木):大学eラーニング協議会(UeLA) 総会・フォーラム

2019年3月15日(金):日本リメディアル教育学会(JADE)(ICT活用教育部会・学習支援部会)／大学eラーニング協議会 合同研究会

■場所:山梨大学 甲府キャンパス内

1日目:大村智記念学術館

2日目:総合研究棟(Y号館)

■趣旨:

近年進められているICTを活用した教育活動に、授業設計の理論をつなげることで、ICT機器は一層その強みを発揮します。そこで今年度は、「授業設計理論とICT活用教育の接続」をテーマとして、1日目のフォーラムでは、熊本大学の平岡齊士先生・合田美子先生の合同基調講演、山梨大学の森澤正之先生の反転授業に関する事例紹介、電子書籍型オンライン学習システム(CHiLO Book)と協議会が提供する共通基盤教材の利用事例の

第12回関西支部大会の開催案内

3月29日(金)に滋賀大学彦根キャンパスにおいて、第12回日本リメディアル教育学会関西支部大会を開催します。発表時間は、1件につき50分(質疑応答含)です。

■日時:2019年3月29日(金)10:00~16:00

■場所:滋賀大学彦根キャンパス

■プログラム:

(研究発表の部)

10:00~10:50

(第7教室)「アメリカにおけるライティング支援施設の現況と日本におけるその影響」

長尾 佳代子(大阪体育大学)、壁谷 一広(大阪体育大学)

(第9教室)「記述式試験対応採点処理システムの開発」

田中 忠芳(金沢工業大学)、益野 一哉(大阪歯科大学)、

王 宝禮(大阪歯科大学)

11:00~11:50

(第7教室)「全入学生を対象としたピア・サポーター制度の実施とその効果—1年間の運用を通して—」

福崎 優太(長浜バイオ大学)、高橋 敏宏(長浜バイオ大学)

(第9教室)「関西学院大学におけるリメディアル英語教育の試行錯誤—つまずきと伸びの検証—」

ハーバート 久代(関西学院大学)、南 佐依(関西学院大学)

13:00~13:50

(第7教室)「学修(習)支援における学生スタッフ育成のための教材研究」

石毛 弓(大手前大学)

(第9教室)「新学習指導要領と大学教育—新学習指導と大学・高校教育の現状と課題—」

塩島 翔(二松学舎大学)

14:00~14:50

基調講演「高大接続から見た大学の初年次教育のあり方について—入試が選抜機能を十分果たさない現状に対する提案—」

鵜飼 昌男(神戸学院大学)

司会:児玉 英明(滋賀大学)

15:00~15:50

ディスカッション「鵜飼 昌男氏の問題提起をめぐって」

討論者:渡部 雅之(滋賀大学 高大接続・入試センター長)

会費納入のお願い

2018年度の会費納入を、まだされていない方は会費の納入をお願いいたします。

3月上旬に来年度の会費納入の案内をお送りいたします。かねてよりお知らせしていますように、2018年度総会で、以下の通り来年度からの会費の改定が決定されました。

個人会員 年会費 6,000円(現状 4,000円)

大学会員 年会費 12,000円(現状 10,000円)

賛助会員 年会費 30,000円(現状 30,000円)

日本リメディアル教育学会はここ5年毎年赤字を続けており、このままでは将来的に資金が不足して学会運営が困難になることが予測されます。会費値上げの主な背景には、事務局業務の外部委託や学会誌への投稿システムの導入やJ-Stageへの対応などがあります。

外部委託は会員の負担軽減を意識したものです。最近、高等教育機関の教員の公(校)務は、なべて激務で、学会の事務局の業務を兼務することは困難な状況になっております。本学会の運営のために、会費の値上げにご理解くださいますようお願い致します。

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

【文責】藤田 大雪